



Hello from Rotary District 2790 Youth Exchange

ロータリー青少年交換プログラム

これで解決!!

よくある質問 **Q & A**



普通の私費留学と 何が違うの？



単なる語学習得ではなく **「日本の親善大使」**として 派遣される 公的教育プログラムです！

■ 解説：

私費留学(400～700万円)と比べると格段に安いですが、その分「親善大使」としての振る舞いが必要です。



応募できるのは
誰?

高校2年生までならOK
なんなら、中学3年生もOK



■ 解説:

日本国籍を有する、千葉県内在住または在学の中学3年生～
高校2年生。

注意: 長期派遣の中学生は中高一貫校で高等部へ進学予定
高校2年生は8月末時点で17歳6ヶ月未満
(留学時に高校生である必要)



参加によって
何が得られますか？

語学力向上はもちろん
圧倒的な「**自立心**」と
「**世界に広がるネットワーク**」
がえられます

■ 解説：

異なる文化の中で生活することで、異文化理解力と問題解決力が飛躍的に高まります。

国内のみならず、派遣先で作る友人やホストファミリー、ロータリーのメンバーとの繋がりは、将来にわたっての大きな財産となります。



現地では
どんな生活を
送るのですか？

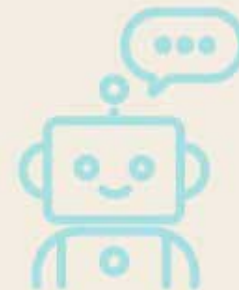


短期は**家族交流**が**中心**
長期は現地**高校**に**通学**します。



■ 解説:

観光旅行とは異なり、現地の家庭の一員として生活します。ホストファミリーや学校のルール、文化を尊重しながら過ごし学業や日常生活においても「日本の代表」としてふさわしい規律のある行動が求められます。



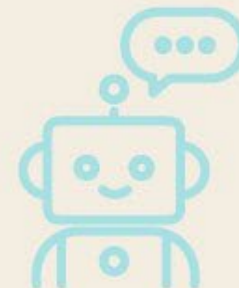
希望の国に行ける？

多くの場合 希望の国に行くことができます。



解説：

国際ロータリー（RI）加盟国の中で、相互に受け入れ体制が整っている地区同士で交換が行われます。そのため、希望をもとに調整されることが多いですが、受け入れ状況や安全基準などにより、一部対象外の地区もあります。



現地の高校で
友達ができるか
不安…



大丈夫。
勇気を出して一歩!



■ 解説:

友達づくりの一番の近道は、自分から声をかけることです。
「それ何?」「いいね!」など、ちょっとした一言がきっかけになります。
最初の数か月は言葉や文化の違いで戸惑うこともありますが
それを乗り越えると世界がぐっと広がります。



部活が忙しいから
事前研修を
休んでもいい？



原則、
欠席はできません。

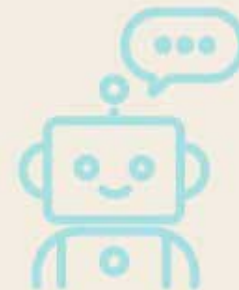


■ 解説：

オリエンテーションは、安全管理や留学生活に必要な大切な研修です。

そのため、欠席すると派遣資格に影響する場合があります。まずは、このプログラムを優先できるかどうか大切なポイントです。

※短期交換の場合は、状況によりご相談いただけることもあります。



これだけは守れ!
というルールは?

「4D+Sルール」は**絶対禁止!!**



Drinking (飲酒)



Driving (運転)



Dating / Drug
(過度な交際 / 薬物)

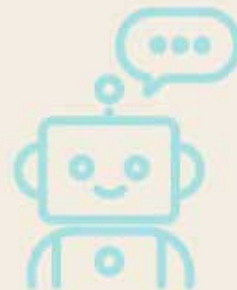


Smoking (喫煙)

■ 解説:

ロータリー青少年交換では、Drinking (飲酒)・Driving (運転)・Dating (不適切な交際)・Drugs (薬物)・Smoking (喫煙)の「4D+S」**が固く禁止されています。

現地で認められている年齢であっても、ロータリーのルールが最優先です。違反した場合は、強制帰国になる可能性があります。



渡航先で
ジムや習い事に行きたいんだけど...

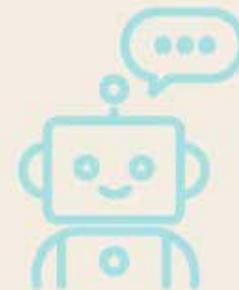


まずはホスト家族や
カウンセラーと**相談!**



■ 解説:

ジムや習い事の月謝は派遣学生の自己(ご家族)負担となります。また、送迎や生活リズムへの影響もあるためホストファミリーの理解と協力が必要です。そのため、希望がある場合は留学前の段階から、カウンセラーなどに相談し、現地ホスト家族とよく話し合ってから決めることが大切です。



ホームシックや 食事の悩みは?



一人で 抱え込まないこと!



解説:

寂しいときこそ部屋にこもらず、リビングで会話に参加することが大切です。何気ない会話から、ホストファミリーとの関係も深まっていきます。
食事については、まず一口は挑戦してみる姿勢が大切です。どうしても合わない場合は、自分で簡単な料理を作るなどの自立心も役立ちます。



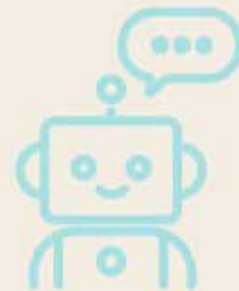
Q
ホスト家族が
小食で、食事量が
足りないんだけど…



A
まずは相談！



■ 解説：
食事の量や習慣は、ホストファミリーによって大きく異なります。
もし困ったときは、一人で抱え込まず現地カウンセラーに相談してください。
状況を確認しながら、より良い形で解決できるようサポートします。



スマホや SNSのルールは？

ホストファミリーの 家の様子や住所などを **無断でSNSに投稿しないよう 注意しましょう。**



- 解説：
プライバシーや安全のため、SNSの使い方には十分配慮が必要です。
また、スマートフォンは海外で利用できる通信方法（SIMカード・eSIM・Wi-Fiなど）を事前に確認しておく心安心です。



宗教のことは
どうすれば？
教会に
連れて行かれる？

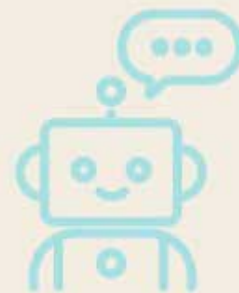


文化体験として**参加!**

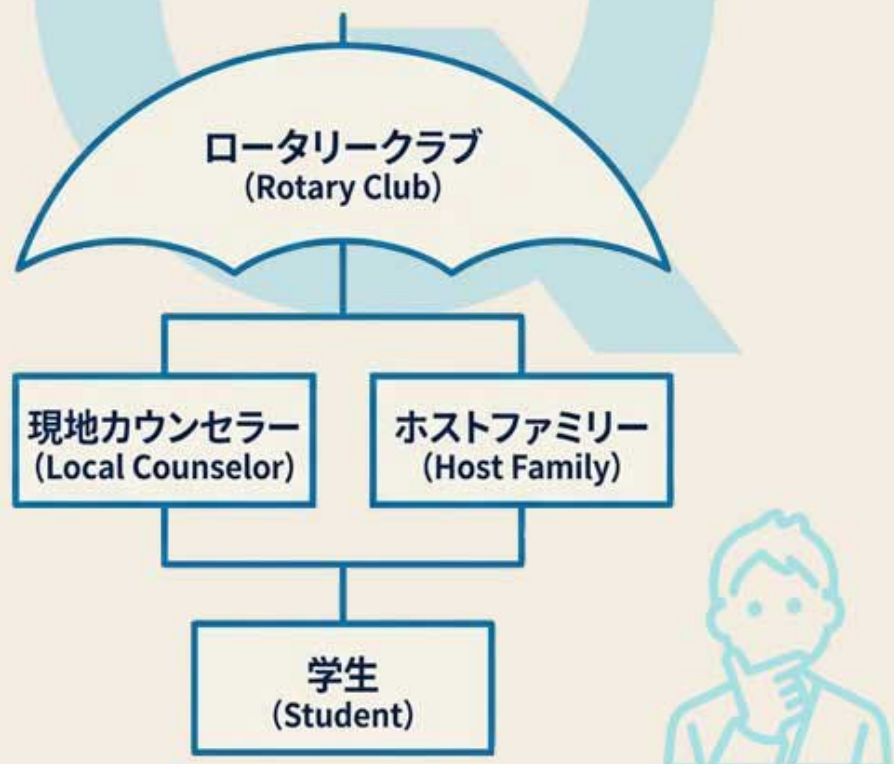


■ 解説:

海外では「日曜に家族で教会へ行く」のは日常の風景です。信者になる必要はありませんが、「文化体験」として同行するのが家族と仲良くなる近道です。



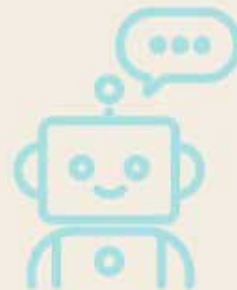
トラブルに 巻き込まれたら？



独断で行動せず 必ず「現地カウンセラー」 または「ホストファミリー」へ 真っ先に相談してください！

■ 解説：

一人で抱え込んだり、勝手な判断で動くことは危険です。現地クラブや地区が連携して対応する体制が整っています。まずは定められたサポート担当者に状況を伝え、指示を仰ぐことが重要です。



現地の
安全管理や
サポート体制は
どのように
なっていますか？



受入ロータリークラブが
責任を持ち
専任のカウンセラーが
生活をサポートします。



■ 解説：

留学生一人ひとりに相談役のカウンセラーが付き、困ったときはすぐに相談できます。万が一の際も、現地クラブ・地区と日本のクラブ・地区が連携して対応する体制が整っています。



派遣学生の
留学にかかる
費用負担は
どの程度ですか？



滞在費と授業料（長期のみ）**は
免除**ですが
**渡航費や各種実費は
自己負担**となります。

■ 解説：

主な自己負担費用は、渡航費、保険料、査証取得費用、事前研修費などです。また、現地でのオプションツアーへの参加や制服の有無などにより総額は変わりますが、目安としては長期交換で約70万～130万円、短期交換で約25万～70万円程度とされています。
※上記金額はあくまでも目安であり、お約束出来るものではありません。



予防接種を しないとダメ?

長期交換は必須です。

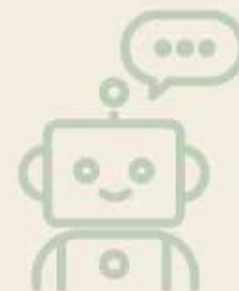


解説:

多くの国では、予防接種が入国や学校への通学条件になっています。そのため、必要な予防接種を受けていないと、渡航や現地の学校に通えない場合があります。

事前に指定された予防接種を確認し、計画的に準備することが大切です。

※歯科治療も出発前に完了して下さい。



短期交換も
学校に通えるの？

原則、
通いません。



解説：

短期交換は、夏休みなどの長期休暇を利用した家庭同士の相互交流が中心です。

そのため、現地の学校に通うことは基本的にありません。



留学中の子どもと
頻繁に
連絡を取っても
良いですか？



過度な連絡は**お控えください。**



■ 解説:

日本のご家族との頻繁な連絡は、ホームシックを誘発し、現地の文化や言語への適応を妨げる場合があります。

お子さまの力を信じ、現地での生活に集中できるよう温かく見守っていただくことが大切です。

原則として、留学期間中の訪問もお控え下さい。

※日本の保護者による、10ヶ月以内の訪問は出来ません。



帰国後、
留年しちゃう？

在籍学校の判断によります。

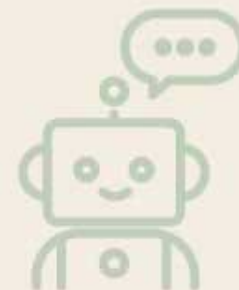


解説：

留学中の学習が単位として認められるかどうかは在籍校の判断になります。また、推薦入試など進学への影響についても学校ごとに考え方が異なります。

そのため、留学前に学校とよく相談し、進級や単位の扱いを確認しておくことが大切です。

※もし影響が心配な場合は、短期交換という選択もおすすめです。



Q
ホスト家族に
子供がいないけど
大丈夫？

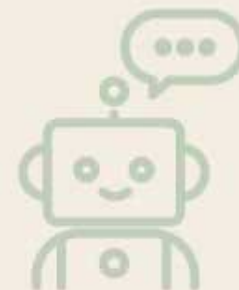
A
まったく
問題なしです！



■ 解説：

お子さんがいないご家庭でも、ホストファミリーになることは可能です。

海外から来る学生との生活は、新しい家族が増えるような特別な体験になります。日常の中での交流が、人生に新しい彩りをもたらしてくれます



ホスト家族は
英語を
喋れないんだけど
大丈夫？

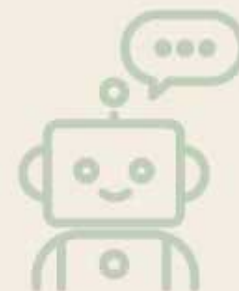
大丈夫です！



■ 解説：

多くの学生は、日本語や日本の文化を学ぶことを楽しみに来日しています。

最初は言葉が十分に通じなくても、身振り手振りや笑顔、少しずつの会話で自然とコミュニケーションは広がっていきます。



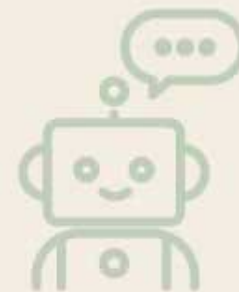
受け入れる
学生の性別は
選べる？

原則、
選ぶことはできません。



解説:

交換プログラムでは、相互交流を大切にするため学生の性別を指定することは基本的にできません。どんな学生が来ても、新しい家族として温かく迎える気持ちで交流を楽しんでいただくことが大切です。



長期交換の場合は
来訪学生の
住民登録をするの？

はい、
必要です。



■ 解説:

日本では、3ヶ月を超えて滞在する外国人は住民登録が必要です。来日後、メインとなるホストファミリーと一緒に市区町村で住民登録を行います。

また、健康保険証の手続きも必要となりますので、詳しい手続きについては、お住まいの市区町村へご確認のうえ、費用についてはホストクラブとご協議ください。



来訪学生は 生活習慣の 違いはありますか？



文化の違いから いくつかあります。

- 毎日お風呂に入らない(シャワーのみ)
- 洗濯頻度が少ない
- 時間にルーズ
- トイレが長い
- 服装の感覚の違い
- 壊しても申告しない文化
- 夜遅くまで電話するなど

■ 解説:

上記はよく聞く一例ですが、個人差がありますのでご注意ください。
なお、最初に説明すると適応できる学生が多いです。



来訪学生の
食時に困ることは
ありますか？

好き嫌いや食文化の違いで
戸惑うことがあります。

- ・日本食が苦手（魚・野菜・味噌など）
- ・ベジタリアン／宗教による食事制限
- ・書類と実際の食習慣が違う
- ・食べる量が少ない
- ・家庭料理より外食を好むなど

■ 解説：

上記はよく聞く一例ですが、個人差がありますのでご注意ください。
なお、日本食を楽しむ学生も多く、問題がない家庭も多いです。



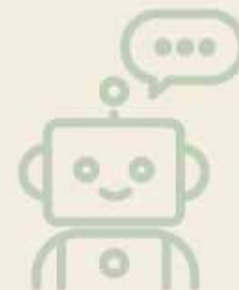
門限を守らない
来訪学生、
叱ってもいい？

きちんと伝えて
大丈夫です。



解説：

門限や生活ルールは、安全に生活するための大切な約束です。守られていない場合は、理由を伝えながらしっかり注意することも必要です。学生を「お客様」ではなく、家族の一員として温かく見守りながら接することが大切です。



学校と家が
遠い学生から
応募が来たら？

事前の
調整が必要です。



解説：

学校と自宅が離れている場合、交換相手（来訪学生）の受入校を千葉県内で探す調整が必要になることがあります。学校との相談や受入体制づくりなど、保護者と協力しながら進めていくことが大切です。

注意：派遣学生の応募資格：千葉県内に在住または在学していること
来訪学生の受入高校：千葉県内の高校に限ります



派遣学生は
どんな子を選ばいい？

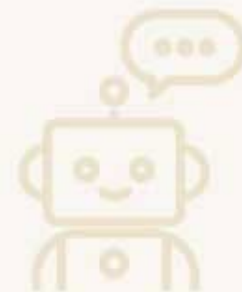
大切なのは
「人柄」です。



■ 解説:

成績だけでなく、心身ともに健康で前向きに挑戦できる人柄が大切です。

また、留学は本人だけでなく家族の理解と協力も重要です。そのため、保護者面接なども含めてサポート体制をしっかりと確認することが大切です。



長期交換の場合は
来訪学生の
受入には
クラブ予算は
いくら準備すべき？



目安は
年間約50万円～100万円です。



■ 解説:

友達との旅行などの費用は、基本的に学生(保護者)負担と地区支援金とは別に、お小遣いや諸経費として年間50万～100万程度をクラブ予算で確保してください。

ただし、制服代や修学旅行費を来訪学生の自己負担にするなど、学校や来訪学生・母国の保護者と来日前に調整することで費用を抑えることも可能です

※上記金額はあくまでも目安であり、お約束出来るものではありません。



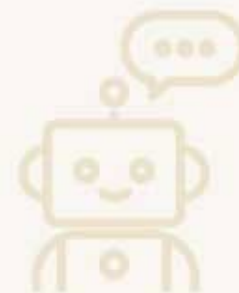
ホストファミリーが
なかなか
見つからない!

特別なおもてなしは
不要です。



解説:

継続することで、地元高校の理解や推薦が得やすくなり、ホスト大切なのは、普通の日本の生活を体験させてくれる家庭です。多くの場合、3～4家庭でバトンタッチして受け入れる形が理想とされています。複数の家庭で受け入れることで、多様な家庭文化を経験できるだけでなく、相性面への配慮もしやすくなります。(推奨であり必須ではありませんので、1家庭での受入も可能です。) また、在籍学校の関係者や近隣クラブにも声をかけてみると協力家庭が見つかることもあります。



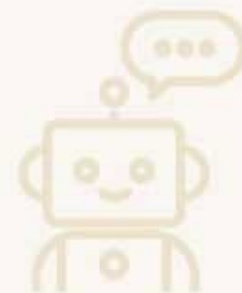
クラブの 青少年委員長が カウンセラーを 兼務できる？

原則、 役割は分けましょう。



解説:

委員長はクラブ内の調整や予算・承認などの運営面を担当し、カウンセラーは学生に寄り添いサポートする役割です。役割を分担することで、より丁寧なサポートが可能になります。また、長期的な視点で人選し、多くの会員が関わる体制をつくることも大切です。



来訪学生が
「友達と旅行に
行きたい」と
言い出した。
お金は誰が出す？



**お金以前に、
友達同士の旅行はNG!**
また、ホスト家族同行であっても
学生(母国の保護者)の自己負担。

■ 解説:

学生同士の旅行は安全管理のため禁止です。ホスト家族同伴の旅行は可能ですが、学生希望による旅行は原則、自己負担になります。(ただし、ホスト家族が同意・提案した旅行はホスト家庭が負担する場合があります。)

いずれの場合も、ホストクラブの許可と地区外事前申請などが必要となりますので、来日前にホスト家族と来訪学生や母国の保護者間での話し合いをおすすめして下さい。



来訪学生が
事故を起こした場合
保険は
どうなりますか？



基本的に
個人賠償責任保険と
海外旅行保険でカバーされます。

■ 解説:

自転車などで人にケガをさせたり、車にキズを付けた場合は自転車事故で人にケガをさせた場合や車などを破損した場合は個人賠償責任保険(対人・対物)で補償されます。来日学生自身のケガは、国民健康保険で7割、残り3割を海外旅行保険でカバーします(短期学生は海外旅行保険の限度額内)。
ただし、学生が乗っていた自転車の破損や修理費は補償対象外です。また、通学で自転車を使用する場合は、別途自転車保険への加入を強くお願いしています。



派遣学生の親から
「うちの方が
尽くしたのに
娘の扱いがひどい」
と相談されたら？



まずは
文化の違いや
寛容に受け止める姿勢を
ご説明します。

Omotenashi
(Hospitality)

Cultural
Translation

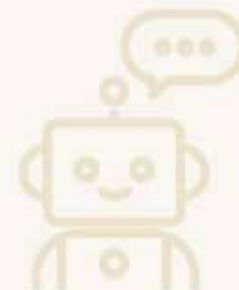
Independence
(Self-reliance)



解説：

日本の「おもてなし」と、海外の「自立を促す文化」には大きな違いがあります。そのため、対応が冷たく感じられる場合でも、学生の自立や、成長を促す関わり方であることも少なくありません。異文化では考え方や生活習慣の違いがあることを理解し寛容に受け止める姿勢が大切です。

また、学生自身がホストファミリーやカウンセラーと直接相談できる関係を築くことで、多くの問題は解消していきます。



毎年
エントリーしている
クラブは
何が違うの？

続けるほど
やりやすくなります。



■ 解説：

継続することで、地元高校の理解や推薦が得やすくなり、ホストファミリーの確保もしやすくなります。
その結果、地域でプログラムの認知が広がり、志願する学生も増えていきます。
また、クラブ内でも受入調整の経験やノウハウが蓄積され、運営がスムーズになります。

※こうしたクラブには活動の中心となるキーマンがいることが多く、それを支えて後押しするクラブ風土が育っていることも特徴です。



帰ってきたら
終わり?

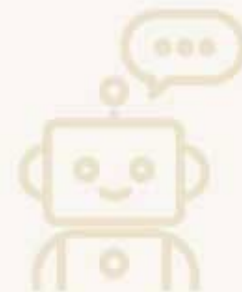
いいえ、
そこからが本番です!



■ 解説:

帰国後は、次の派遣候補生へのアドバイスや、元交換学生の会である ROTEX の活動など、今度は支える側として関わる機会があります。

また、クラブ例会で留学を通して成長した姿を報告してもらうことは、会員にとっても大きな喜びです。



クラブ向け / For Clubs

国際ロータリー第2790地区 青少年交換プログラム ロードマップ

スケジュールは？



解説：
ロータリー年度をまたぐため
会長エレクトや会長ノミニーとも
早めに相談しながら進めることが
大切です。



※長期派遣の中学生は中高一貫校の高等部に進学予定であること。なお、高校2年以降で参加する場合は、在籍校の判断により卒業・進学時期が遅れる可能性があります。

STEP 1 志願生 (募集・選考) 3月～9月	STEP 2 候補生 (準備・オリエンテーション) 10月～翌6月	STEP 3 留学生 (派遣・受入) 翌7月～翌々7月	STEP 4 帰国生 (ROTEX) 翌々8月～
<p>3月頃 募集開始 <small>自主応募の生徒は自らスポンサークラブを見つけます クラブ毎に締切が異なりますので早めのエントリー要</small></p> <p>3月～6月 各クラブ志願生 発掘・選定</p> <p>7月 スポンサークラブ 新年度・理事会承認</p> <p>8月初旬 地区申込み締切</p> <p>9月 地区選抜試験 </p>	<p>合格→候補生へ</p> <p>10月～翌5月 地区オリエンテーション等 研修参加</p> <p><small>・12月末までにアプリケーション書類の提出 ・翌1月～3月頃、派遣国&受入国マッチング ・翌4月以降、派遣国&受入国との関係強化等</small></p> <p>翌6月 認証書・授与 </p>	<p>候補生→留学生へ</p> <p>翌7月 短期 IBS 受入</p> <p>翌8月 短期 OBS 派遣</p> <p>翌8月～翌々7月 長期 IBS 受入</p> <p>翌8月～翌々7月 長期 OBS 派遣</p> <p><small>※長期留学の南半球は 翌々1月～12月となります。</small></p> <p></p>	<p>留学生→ROTEX</p> <p>翌々10月頃 帰国報告会</p> <p>ROTEX  ROTEXとして 後輩の育成</p>

ロータリー青少年交換プログラム：世界への架け橋と親善大使の心得

【学生・保護者】親善大使としての自覚と覚悟



低コストと引き換えの「日本の代表」という役割

私費留学より格段に安価な分、親善大使としての高い品格と振る舞いが求められます。



飲酒 運転 不適切な交際 薬物 喫煙

絶対厳禁の「4D+S」ルール

飲酒、運転、不適切な交際、薬物、喫煙は現地年齢に関わらず即帰国の対象です。



「お客様」ではなく「家族」として溶け込む

宗教行事への同行や家事への挑戦など、自ら積極的に文化体験に飛び込むガッツが必要です。

ロータリー青少年交換プログラムは、単なる語学留学ではなく、学生が「日本の代表」として異文化に飛び込む草の積の親善事業です。参加者には自立心と厳しい規律が求められ、受け入れ別であるクラブには「家族」として学生を育てる温かくも厳格なサポートが求められます。

【クラブ運営】次世代のリーダーを育てる支援体制

選考基準は「成績」よりも「ポジティブな心」



心身の健康と、受入を承諾する保護者の協力体制を最優先で確認します。

クラブ全体で支える運営と予算の確保



年間50~100万円程度の予算を確保し、委員長とカウンセラーで役割を分担します。



帰国後から始まる「支える側」への成長



ROTEX（学友会）への参加を通じて、次は後輩を支援する側としての活動が始まります。